

【熊本 SJCD 例会 抄録】

演題 前歯部審美修復治療
～補綴前処置を中心に

演者名 関 喜英

日付 2012年1月24日

keyword

- 1 欠損部歯槽堤への対応
- 2 根面被覆術
- 3 矯正的挺出

【抄録】

前歯部審美修復においては、修復物の美しさだけではなく、周囲軟組織を含めた審美性が要求されるのは言うまでもない。そのためには、適切な支台歯形成を行い、良好な修復物をセットすることで良い結果が出る場合もあるが、補綴前に様々な前処置を行わなければならない場合もある。後者のようなケースでは、基本的な審美的要素を踏まえながら、**Biologic width** やフェルール、修復物と歯周組織や欠損部歯槽堤との関係などに十分に配慮する必要がある。また、補綴前処置のオプションとしては、臨床的歯冠長延長術、矯正、歯槽堤増大術、結合組織移植術、根面被覆術、プロビジョナルレストレーションの調整等が挙げられる。症例に応じて適宜それらを応用し、ファイナルレストレーションに至ることとなる。

今回は、審美修復において補綴前処置が必要だった2ケースを提示する。会員の方々の忌憚の無いご意見をいただき、今後の臨床に生かしていきたいと思う。